

平成 29 年度第 1 回立山町総合教育回議 議事録

1. 開催日時 平成 29 年 8 月 29 日（火）15 時～15 時 30 分
2. 開催場所 立山町役場 3 階 第一会議室
3. 参加者 町 長 舟橋貴之
教育委員会 教育長 大岩久七
委員 大畑年 金川良子 牧野重雄 石原るり子
4. 事務局 企画政策課 清水正、瀬本紀子
教育課 青木正博、村上公堂、林宏之

協議事項

○小学校の適正配置（複式学級解消）の今後について

- ・教育課長より小学校の適正配置（複式学級解消）の経過について時系列で説明が行われた後、各教育委員との意見交換を行った。

※小学校適正配置（複式学級解消）の経過

平成 26 年 3 月 31 日 同審議会から立山町立小学校適正規模・適正配置について教育委員会へ答申

短期的な取組：複式学級が存在する学校を統合して全ての学校で単式学級とする。

平成 26 年 日中上野小学校・新瀬戸小学校の地区住民・保護者に対し説明会開催

平成 28 年度を目処に学校統合を行い、複式学級を解消する。

平成 27 年 3 月 日中上野小学校、新瀬戸小学校各保護者会で他校へ統合しないことを決定

平成 27 年 4 月 新瀬戸小学校保護者会から全児童が他校へ移ると申し入れがある。

平成 28 年 3 月 31 日 新瀬戸小学校休校

◇町長から上段地区町政懇談会（平成 29 年 7 月 7 日開催）から本日まで 2 回開催された教育委員会での検討結果の報告を求める。

◇教育長からの報告

【現状報告】

- ・上段地区町政懇談会において日中上野小学校の今後の不透明なため不安であるという意見及び学校統合の方針を決めてほしいという要望があった。
- ・平成 27 年度の日中上野小学校児童数は 45 名、平成 29 年度の同小学校児童数は 27 名。内訳は自然減 8 名と校区外への小学校への入学または転校により 10 名減で計 18 名の減少である。

【教育委員会の協議内容】

- ・平成 31 年 4 月を視野に高野小学校と統合するという教育委員会方針で地元と協議を進める。
- ・平成 30 年 4 月入学予定児童は、高野小学校または日中上野小学校への入学を認めることとしたい。

◇町長の発言

【内容を確認】

- ・現在校区内には 37 名の児童が居住しているが、このうち 10 名は高野小学校または立山中央小学校へ通学しており、日中上野小学校の児童数は 27 名である。
- ・平成 31 年 3 月末で日中上野小学校を休校または閉校とし、高野小学校と統合する。
- ・統合について、在校生の保護者、来年度入学予定者の保護者等に説明会をこれから開催し理解を得るよう努める。

- ・来年度入学予定児童については、高野小学校または日中上野小学校いずれかの小学校を選択できる。

【質問】

- ①在校生が高野小学校への転校を希望した場合はどうするのか。
- ②説明会はいつごろ開催するのか。

◇教育長

- ①について：要望があった場合、認めざるを得ない。
- ②について：9月町議会定例会が終了後、できるだけ早く開催する。

◇A教育委員からの意見

- ・複式学級の場合、1人の先生が2つの学年を指導する。児童にとっては先生の話聴き、考えるといった時間が、単式学級に比べて半分しかない。このため、複式学級の解消は、教育の機会均等や児童の健全な育成のためにもできるだけ早く取り組むことが必要ではないかと思う。
- ・来年度から高野小学校へ転校するという児童が増えると思う。その場合、運動服や、スクールバスといったことが課題になる。準備期間があまりないため、対応は難しいとは思いますが、町当局でできる範囲で配慮をいただければと思う。

◇町長の発言

- ・教育委員会が統合決定後の平成31年4月には、スクールバスや運動服等についての準備は町の責任で行う。
しかし、校区が日中上野小学校である平成31年3月31日までの間に転校した児童に、交通費を補助する等した場合、転校しない児童との間に不公平が生じてしまう。
ただし、今後、様々な動きが出てくることが予想され、その場合は、教育長と町当局の間で相談していく。児童と保護者の気持ちを考慮して検討していきたい。

[閉会時刻 15時30分]